

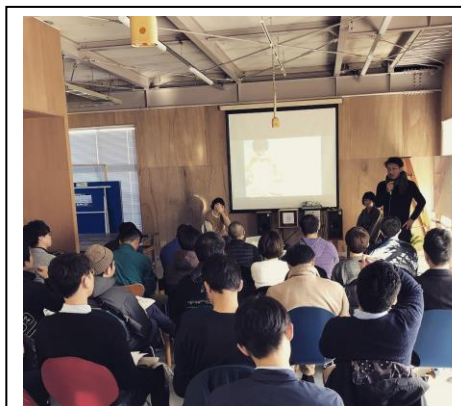
平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まつもと市民大学プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	コワーキングスペース Knowers(s) Tel:0263-34-3710
事業区分	主となる区分：地域協働の推進に関する事業 関連する区分：⑥ (オ) その他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,256,334 円 (うち支援金： 942,000 円)

事業内容

地域で活動する人を増やし、地域のナレッジを高める=知蓄を目指し、参加対象を松本市民だけではなく県外にも解放し、よりコミュニティに近いところで接点を持ち、本企画の関わりを起点にアクションにつなげられるような企画を行った。

今年度は「まつもと市民大学：ローカルプロジェクト」と題し、市内で活動的なプレイヤーである講師と県外の講師を織り交ぜ、あらゆる人があらゆる場所や時間帯で自分が興味のある分野について学べるよう、コワーキングスペース KNOWERS 以外の会場 2 箇所も利用し、次のイベントを実施した。



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 芸術、地域おこし、起業、組織作り、デザイン、物作り、リノベーション、食、農業など多様な取組を紹介した。
- ② 県外から 6 組、県内から 5 組が登壇して普段のこの地域にはない情報発信や繋がりになったと思った。
- ③ 参加者はいろんなプロジェクトをすでに稼働させていたり、起業している、物作りをしているなどのアクティブな人が多く、そのような人々に刺激のあるコンテンツを提供できたと考えている。

【目標・ねらい】

- ① 県外の地域の多様な取組を知る。
- ② 県内外のプレイヤーの熱量に触れる。
- ③ 地域で実行力ある人を増やす

※自己評価【B】

【理由】
集客や満足度においては目標は達成したと考えるが、そこから何かを生み出すという部分で効果を高められなかった。課題に取り組む人、何か新しいことを始める人、そんな実行する人を増やすための仕組みまで持っていくことができるよう継続していきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度も定期的に同様の取り組みを継続する方向でいる。課題をもっとシンプルにしたり、子供や高齢者にも興味を持ってもらえるような課題を提示して、アクションにつなげていきたいと考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある